

福祉サービス第三者評価結果の公表事項

評価機関（評価機関認証No.）	社会福祉法人 福井県社会福祉協議会（福井福祉評価認証第1号）
評価調査者研修番号	第6-14号、第6-15号、第14-1号

【基本情報】

①施設・事業所情報

名称：光が丘ワークセンター	種別：障害者支援施設	
代表者氏名：施設長 荒木博文	定員（利用人数）： 50 名	
所在地：福井県丹生郡越前町朝日22-2-2		
TEL：0778-34-2121	ホームページ：http://www.Kodoen.or.jp	
〔施設・事業所の概要〕		
開設年月日 昭和56年5月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 光道園		
職員数	常勤職員： 24名 非常勤職員 3名	
専門職員	（専門職の名称） 名	
	看護師 2名	理学療法士 2名
	管理栄養士 1名	歯科衛生士 1名
施設・設備の概要	（居室数）	（設備等）
	31室	食堂、作業場、浴室（男、女）、洗濯場、相談室、通所休憩室、エレベーター、火災報知設備、ボイラー室、防犯カメラ

②理念・基本方針

<p>園訓「愛なき人生は、暗黒であり汗なき社会は、墮落である」は、自らも全肯という精神を持ちながら、広く全国の障害者のために光道園を創設「中道益平」が、生涯を通じた精神である。私たち光道園職員は、この言葉を「光道園精神」として、いついかなる時も、社会情勢が如何に変わろうとも、継承し実践してゆく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 一人ひとりの人権を尊重し、尊厳を持って日常生活が送られるよう総合的なサービスを提供します。 かけがえのない社会の一員として、自立支援に努めます。 地域福祉の拠点として、開かれた地域づくりと地域福祉の推進に努めます。 常に職員の資質向上を図り、良質なサービスを提供します。 透明性を堅持し、健全かつ活力ある法人経営をします。
--

③施設・事業所の特徴的な取組

<p>日中活動の場として、作業を提供し、働くことを楽しみにしておられる利用者の方へ、日々作業の確保と賃金支給に努めている。また、高齢化に伴い健康の維持と向上に努め、活動範囲を広げていけるよう自治会を中心としたレクリエーションやミニ運動会の開催など計画に沿って進めている。</p> <p>毎日のラジオ体操と、タオル体操の継続と健康に関する内部研修を利用者、職員と共に学びあうことで、利用者の方自身も健康に対する意識が深まっている。</p> <p>日頃から、利用者の方の行動、発言、思いをしっかりと見聞きし、個別支援に対する計画が充実したものとなるよう、職員間で共有しあいながら関わっています。</p>

④第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和2年11月6日（契約日） ～
	令和3年4月20日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（平成 29 年度）

⑤総評

<p>【特に評価の高い点】</p> <p>《理念・基本方針》 理念・基本方針は光道園精神として継承し実践している。また、園内掲示やパンフレット、職員のしおり等に掲載し、目標管理制度の面接時に職員の理解を確認している。 新採用の職員に、法人が作成した冊子「施設で生きる」を配付し、熟読させてレポートを提出させることで、法人理念の理解促進を図っている。</p> <p>《利用者本位の福祉サービス》 基本方針にて利用者を尊重した福祉サービスの実施について明示し、倫理研修会（年4回）を通じて利用者尊重について職員の理解を促進する取組みをしている。また、不適切な事案が発生した場合の対処方法を虐待対応フローチャートに明示し職員の理解を図っている。 利用者のプライバシー保護マニュアルや権利擁護規程は整備され職員の理解が図られている。また、利用者の生活の場にふさわしい生活環境として、二人部屋にカーテン等を設ける工夫をしている。</p> <p>《生活支援》 利用者の金銭管理について、保管料を徴収し事務所が対応している。利用者の行政手続き（年金関係・税務関係）も事務所が対応している。利用者の障害の状況に応じて、タブレットの活用やオブジェクトキーや立体コピーを使用して支援をしている。利用者は自身の希望により、障がい者スポーツ大会（フライングディスク大会）やスポーツフェスタ（卓球バレー）、地域の合唱クラブに参加している。利用者の基本的ケアとして、水分・排便・食事・運動の状態を把握し、それを点数化して、自立支援実践を進めている。利用者の口腔内のチェックを行い、利用者への歯ブラシチェック、歯磨きチェックを行っている。</p>

【改善を求められる点】

《事業計画の策定》

中・長期計画は経営戦略会議にて昨年10月に5年間の計画を作成しているが、組織決定したものまでには至っておらず、組織的な計画となることが望まれる。

《利用者本位の福祉サービス》

意思決定が困難な利用者への説明について、慣例的に対応しているため、組織としての対応をルール化することを望みたい。施設変更や家庭への移行等について、福祉サービスの継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めるよう望みたい。

⑥第三者評価結果に対する事業所のコメント

第三者評価の評価結果を受け、一部のマニュアルの見直しを行うこと、また意思決定が困難な方に対しての組織としての対応と、ルール化をします。

今後、指摘箇所について取り組んでいく事、また今年度は、満足度調査の実施と検証を行い、満足度の向上に努めていきます。

今回は利用者の方への生活支援等における評価は高く頂きましたが、これからも、高齢化、重度化となる利用者の方の支援に対し、利用者主体を忘れずに、しっかりと丁寧に、お一人おひとりの想いを確認しながら進めていきたいと思っています。

⑦第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

障害者・児福祉サービス版

【共通評価基準】

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 理念・基本方針は光道園精神として継承し実践している。また、園内掲示やパンフレット、職員のしおり等に掲載し、目標管理制度の面接時に職員の理解を確認している。 新採用の職員に、法人が作成した冊子「施設で生きる」を配付し、熟読させてレポートを提出させることで、法人理念の理解促進を図っている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

I-2 経営状況の把握

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a
3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 各種協議会への参画や専門誌、新聞等により、社会福祉事業全体の動向について情報収集をしている。 経営課題について経営戦略会議及び役員会で協議している。人材確保への対応として外国人雇用計画に基づき、ベトナムからの技能実習生の受入れを行っている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	c
5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	c
コメント	良い点/工夫されている点： 特になし。	
	改善できる点/改善方法： 中・長期計画は経営戦略会議にて昨年10月に5年間の計画を作成しているが、組織決定したものまでには至っておらず、組織的な計画となることが望まれる。	

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a
7	② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 事業計画は1月に基本方針を決め、2月に主任以上の職員のヒアリングを行い策定している。なお、事業計画は半期ごとに評価・見直しを行っている。 職員には毎年4月に業務説明会で説明しており、利用者家族には機関誌を送付して理解を促している。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b
9	② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b
コメント	良い点/工夫されている点： 特になし。	
	改善できる点/改善方法： 福祉サービスの内容について、今回の受審にあたり、各委員会で自己評価をしているが、その結果を分析・検討していない。 今後は今回の受審を機会に組織として委員会等の設置を検討し、分析・改善を行うことを望みたい。	

II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b
11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 特になし。	
	改善できる点/改善方法： 施設長としての役割と責任等については職務分掌等に明文化され、職員にも周知されているが、不在時における権限委譲については不明瞭である。有事を含め施設長不在時の具体的な対応について明文化することが望まれる。	

II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a
13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 法人全体が必要とする福祉サービスの質について現状分析が行われており、職員および利用者にとってより良い福祉サービスの質の向上に向けた取り組みを行っている。 また、経営についても事業所の現状を把握し、人事、労務等職員の働きやすい環境整備にも取り組んでいる。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a
15	② 総合的な人事管理が行われている。	b
コメント	良い点/工夫されている点： 人材の確保については、法人全体で毎年20数名の新規卒卒者の採用やベトナムからの技能実習生の採用など積極的に行っている。 新規採用職員の育成は新任職員研修とプリセプター制度の実施を、また人材育成として介護技術研修、メンタルヘルス研修など専門課題別研修を積極的に実施している。	
	改善できる点/改善方法： 人事基準については、採用・配置・昇進・昇格のルールは明文化されているが、人事異動についてのルールは決められていないので、その基準を明確にされたい。	

II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 職員の労務管理の責任体制は明確であり、就業状況も勤怠管理システムの導入により把握されている。 ストレスチェック検査や外部の心理士によるカウンセリングの実施、年2回の個別育成面談を行い、職員の心身の健康と安全確保に取り組んでいる。 法人には託児所があり、未就学児を持つ職員への働きやすい職場環境づくりへの対応に取り組んでいる。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a
18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a
19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 職員一人ひとりの育成に向けた取り組みとして、「目標管理シート」・「研修目標シート」を活用している。 階層別研修として新人職員育成にプリセプター研修が行われ、介護技術研修やサービス管理責任者研修、メディカルスタッフ研修等の職種別研修も行われている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 実習生の受入れについては、実習指導者研修を受けた職員が対応し、実習生受入れマニュアルに基づき、県内の高校、専門学校・大学等からの実習生を受け入れている。 実習指導者は県内各大学の実習指導者研修に参加している。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

II-3 運営の透明性の確保

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a
22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： ホームページにおいて「地域における公益的な取り組み」「事業報告・決算報告」「苦情解決」「ヒアリング」などを多種にわたり掲載している。経理面については監事による内部監査ならびに県外の公認会計事務所による外部監査も実施され改善に取り組んでいる。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

II-4 地域との交流、地域貢献

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	a
24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 「地域における公益的な取り組み」として、中高生を対象にボランティアスクール、福祉体験学習、公開セミナーなど積極的に行われている。今年は新型コロナウイルス感染の恐れがあり中止となったが、例年は地域交流の場として、光が丘夏祭りが8月第4土曜日に開催され、地域住民との交流の場となっている。ボランティアについては、受け入れマニュアルが整備されており、ボランティア保険への加入も実施している。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 福井県内社会福祉法人連携事業「生活困窮者相談支援事業」ふく福くらしサポート事業による、越前町管内の生活課題を抱える人の相談支援および経済的援助（現物支給）に取り組んでいる。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	① 福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。	a
27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 地域住民に施設（ホール等）を開放したり、公開セミナーを行うことで地域住民との交流を図っている。地元の自治体と災害時の協定が結ばれており、総合防災訓練（通報・避難・消火訓練）が実施されている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

III 適切な福祉サービスの実施

III-1 利用者本位の福祉サービス

III-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
29	② 利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 基本方針にて利用者を尊重した福祉サービスの実施について明示し、倫理研修会（年4回）を通じて利用者尊重について職員の理解を促進する取組をしている。また、不適切な事案が発生した場合の対処方法を虐待対応フローチャートに明示し職員の理解を図っている。利用者のプライバシー保護マニュアルや権利擁護規程は整備され職員の理解が図られている。また、利用者の生活の場にふさわしい生活環境として、二人部屋にカーテン等を設ける工夫をしている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

III-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	a
31	② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	b
32	③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	b
コメント	良い点/工夫されている点： 理念や基本方針、実施する福祉サービスの内容や施設の特性等を紹介した資料が、社協、病院、特別支援学校等に置かれ、県視覚障がい者支援ネットワーク等で紹介されている。また、施設の事業内容がわかるDVDや点字も用意している。また、見学者や一日体験者への対応を記録している。利用者への福祉サービス提供の説明には点字で作ったパンフレットや音声コードを使用して、利用者の自己決定の尊重に配慮している。サービスの開始・変更時には、利用者や家族の同意を得てその内容を記録している。事業所の変更や移行等は、施設見学やパンフレット等を取り寄せ、利用者や家族に確認をとっている。また、サービス利用が終了した利用者や家族等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、内容を記載した文書を渡している。	
	改善できる点/改善方法： 意思決定が困難な利用者への説明について、慣例的に対応しているため、組織としての対応をルール化することを望みたい。施設変更や家庭への移行等について、福祉サービスの継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めるよう望みたい。	

Ⅲ- 1 - (3) 利用者満足の向上に努めている。		
33	① 利用者満足の上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b
コメント	良い点/工夫されている点： 利用者会や家族会、嗜好調査等を通じて、利用者ニーズを把握している。また、自治会活動でも利用者の意見を聞き、利用者満足向上に努めている。	
	改善できる点/改善方法： 利用者満足に関する調査が定期的に行われていない。直接の面談では引き出せない利用者の意見等を、匿名のアンケートを通じて聞き取りして、満足度の向上につなげるように望みたい。	

Ⅲ- 1 - (4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b
35	② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	b
36	③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
コメント	良い点/工夫されている点： 苦情解決の仕組みは確立しており、苦情対応の記録や利用者・家族等へのフィードバックもなされている。利用者からの意見や相談については相談マニュアルを整備し対応している。	
	改善できる点/改善方法： 利用者が意見を述べやすい取組みとして、アンケート調査を実施していない。アンケート調査を実施し、利用者や家族等が苦情を申し出しやすい工夫を望みたい。また、利用者が相談したり意見を述べる際に複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成していない。説明資料を作成して、利用者や家族への配布や施設内に掲示する等の工夫を期待したい。相談マニュアルは4年前に作成しているが、定期的な見直しを行っていないため対応を望みたい。	

Ⅲ- 1 - (5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a
38	② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
39	③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 法人にて事故予防対策委員会を設置し体制の整備を行っている。委員会は毎月開催し、ヒヤリハットや事故発生に対する検討を行い、職員への周知を図っている。感染症対策については、衛生委員会や感染対策委員会を設置し、感染症予防や拡大防止に努めており、今回のコロナウイルスに関しても手洗いや検温、外来者のチェック、県からの指導等が徹底して行われている。災害時における利用者の安全確保の取り組みは、BCP（事業継続計画）を作成し、利用者や職員の安否確認表を作成し、食料等の備蓄も3日分から5日分へ多くしている。また、町との災害時における協力体制の協定を締結している。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

Ⅲ- 2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ- 2 - (1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	b
41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 標準的な実施方法がマニュアルにて明文化されている。マニュアルには利用者の尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が明示され、研修や個別の指導等によって職員へ周知徹底している。福祉サービスの標準的な実施方法の検証・見直しは、「マニュアル、手順書、見直し年間スケジュール」により定められている。検証・見直し時には「利用者聞き取り調査」「職員アンケート調査」による職員や利用者等からの意見や提案も取り入れている。	
	改善できる点/改善方法： 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みづくりが望まれる。	

Ⅲ- 2 - (2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	① アセスメントにもとづく個別支援計画を適切に策定している。	a
43	② 定期的に個別支援計画の評価・見直しを行っている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： サービス管理者を個別支援計画策定の責任者と定め、法人全体でアセスメントシートを統一して計画策定している。カンファレンスには他職種も出席し協議のもと進められている。個別支援計画手順書や意思決定手順書を定め、支援困難なケースはカンファレンスで検討し、適切な福祉サービスを提供している。個別支援計画の見直しは、その手順にもとづき組織的な仕組みを定め実施している。評価・見直しについては、アセスメントシートやスクリーニング表を活用している。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

Ⅲ- 2 - (3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
45	② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	b
コメント	良い点/工夫されている点： 利用者に関する福祉サービスの記録は、アセスメントシートとフェイスシートは組織で統一した様式のものを使用し、記録の書き方研修会を実施して職員間で差異が出ないよう工夫している。記録の共有はネット・ワークの利用や、カンファレンスにて行われている。	
	改善できる点/改善方法： 個人情報保護規程は定められているが、規程の内容についての職員への教育や研修は行われていないため、実施することを望みたい。	

【内容評価基準】

A-1 利用者の尊重と権利擁護

A-1-(1) 自己決定の尊重		
A①	① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 自治会の総会や役員会（年数回開催）にて利用者の要望を把握している。趣味の活動としてクラブ活動（9つのクラブ。月1回～2か月に1回実施）があり利用者の自主運営を目指しており、施設生活のルールも自治会が決めている。外出マニュアルに基づき個別外出にも対応し、馴染みの美容室にタクシーで行っている人もいる。倫理研修・虐待防止研修を実施し、利用者の権利について理解・共有する機会を設けている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

A-1-(2) 権利侵害の防止等		
A②	① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 職員を対象にセルフチェック（虐待芽チェックリスト）を年4回行っている。また、権利侵害について職員間で話し合う機会を設け、課題等を検討している。 利用者から苦情の申し出があれば、支援会議等で話し合いを行い、その結果を行政や利用者家族に報告している。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

A-2 生活支援

A-2-(1) 支援の基本		
A③	① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	a
A④	② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	a
A⑤	③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	a
A⑥	④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	a
A⑦	⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 利用者の金銭管理について、保管料を徴収し事務所が対応している。利用者の行政手続き（年金関係・税務関係）も事務所が対応している。利用者の障害の状況に応じて、タブレットの活用やオブジェクトキーや立体コピーを使用して支援をしている。利用者は自身の希望により、障がい者スポーツ大会（フライングディスク大会）やスポーツフェスタ（卓球バレー）、地域の合唱クラブに参加している。利用者の基本的ケアとして、水分・排便・食事・運動の状態を把握し、それを点数化して、自立支援実践を進めている。利用者の口腔内のチェックを行い、利用者への歯ブラシチェック、歯磨きチェックを行っている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

A-2-(2) 日常的生活支援		
A⑧	① 個別支援計画にもとづく日常的生活支援を行っている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 利用者の昼食は選択メニュー（2種類）を取入れている。食事サービス委員会（月1回）が検査簿の内容をチェックしている。自治会の希望で適宜、利用者からの食事のリクエストに対応している。介護力向上委員会を設けて、利用者の運動量を上げる取り組みを行っている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

A-2-(3) 生活環境		
A⑨	① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 利用者に毎日の生活の過ごし方を把握してもらうために、朝礼時に検温、入浴者、作業情報を、昼礼時に検温、口腔体操、室内運動、日課の変更を伝えている。利用者に一週間の予定を把握してもらうために、日曜日に1週間の日課を伝えている。利用者の居室は基本的に2人部屋であるが、室内はカーテンやタンス等で仕切りプライバシーが守られるようになっている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

A-2-(4) 機能訓練・生活訓練		
A⑩	① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 利用者の機能・生活訓練として、朝礼時にラジオ体操、理学療法士が考えたタオル体操を行っている。昼礼時には、口の体操、天気の良い日には散歩、室内ではスクワットなどを行っている。利用者の口腔ケアも行い、歯科衛生士にアドバイスをもらっている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

A-2-(5) 健康管理・医療的な支援		
A⑪	① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	a
A⑫	② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 嘱託医が月1回健康状態の相談に応じている。職員は朝夕連絡会ノートに記入した内容を確認し、利用者の状態を把握している。朝礼時、タオル体操とラジオ体操を実施、昼礼時には、口腔体操と屋外運動（雨天時は室内でスクワットなど）を実施し、利用者の健康維持・増進を図っている。職員を対象に糖尿病・感染症などの内部研修も行っている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

A-2-(6) 社会参加、学習支援		
A⑬	① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 利用者は「リベットさし」を行い、職員と対話することでその関係性を深め、考える力、コミュニケーション能力を高めている。また、その活動を通して利用者の生活意欲の向上につなげている。散髪の外出もマニュアルを作り安心安全に行っている。施設内で売店が週1回開かれ、また、日用品の購入を目的に外出（月1回）して買い物をする機会を設けている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援		
A⑭	① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 地域生活に移行する利用者には2人部屋から1人部屋での生活を経験させたり、歩行訓練で公園やコンビニにまで行く練習をして、地域にスムーズに移行できる支援を行っている。同行援護サービスを利用して大型のショッピングモールまで買い物に行く支援も行っている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	

A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援		
A⑮	① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	a
コメント	良い点/工夫されている点： 年4回機関紙「ひかりのみち」に利用者の写真を掲載して、利用者の様子を家族に知らせている。家族には個別支援計画と一緒に、施設に対する意見を伺う質問用紙を送付して、意見や要望を聞き取りしている。帰省ハガキを家族に送り帰省の意思確認を取っている。年に1回家族会（ひかり会）を開催し、利用者家族の意見交換会の場を設けている。	
	改善できる点/改善方法： 特になし。	